

4月	単元名・教材名	・つないで、つないで、一つのお話（1）
	指導目標	◎話し手の一文の内容を捉えながら聞き、自分の言葉で続きのお話を作ることができる。
	言語活動	■グループで話し合い、一つのお話を作る。
		学習活動 指導上の留意点
	1 教材文を読み、活動の目的と流れを確かめる。 2 最初と最後の一文を決め、グループで二周する間にお話を作る。 3 「もっと楽しもう」に挑戦する。 4 P8「いつも気をつけよう」の「話すとき」「聞くとき」を読んで確かめる。	
	【関】お話を作って話すことに興味をもち、積極的に参加しようとしている。 【話・聞】話し手の意図を捉えながら聞き、話す事柄の順序を考えて続きのお話を作ることができる。 【言】前の人の言葉を受け、それに合うような言葉を考えてお話を作っている。	
4月	単元名・教材名	・支度（1）
	指導目標	◎詩を読んで感じたことや考えたことが伝わるように音読することができる。
	言語活動	■詩を味わう。
		学習活動 指導上の留意点
	1 扉の詩を読み、目次やP6「六年生を見わたそう」（このページは、学習の中で適宜確認するとよい。）を見て、1年間の学習を見通す。 2 詩を音読する。 3 反復や比喩などの表現の工夫を見つける。	・一人読み、グループ読み、全員読みと形態を変えて繰り返し音読する。 ・どのような情景が描かれているか想像する。
	【関】詩の情景を想像しながら、自分なりに6年生1年間の学習に対する緊張や期待を感じて音読しようとしている。 【読】「心の支度」とはどのようなことか、考えたことが伝わるように工夫して音読している。 【言】反復や比喩など、表現の工夫に気づいている。	
4月	単元名・教材名	・一人読み、グループ読み、全員読みと形態を変えて繰り返し音読する。・カレーライス（5）
	指導目標	◎登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、自分の考えをまとめることができる。 ○教材文を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
	言語活動	■自分の体験とのつながりを見付けて、感想を書く。
		学習活動 指導上の留意点
	1 学習の見直しをもつ。 2 物語の設定やあらすじをつかむ。 3 場面ごとの「ぼく」の心情を捉える。 4 「父」の視点から教材文を読む。 5 「ぼく」と自分の経験を重ね合わせる。 6 感想を書く。 7 感想文をグループで読み合う。 8 学習を振り返る。	・教材文の教師の範読を聞く。 ・一言感想を発表する。 ・「登場人物の心情をとらえながら読み、感想をまとめよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・「ぼく」の心情や言動が分かる表現を探す。 ・象徴的に使われている言葉や表現の効果を考える。 ・「お父さん」の心情を言動から想像する。 ・共通点や相違点を箇条書きで書く。 ・P29の観点から一つを選ぶ。 ・自分と友達の共通点や相違点を交流する。 ・最初の一言感想と比べて違いを見つける ・心情の読み取り方や、自分の感想の中心について確認する。
	【関】自分の経験などと重ね合わせながら、登場人物の心情を理解し、感想をもとうとしている。 【読】 ・登場人物どうしの関わりと心情の変化を捉え、感想をまとめている。 ・友達と感想を交流することにより、自分の考えを深めている。 【言】自分の感想を表すことができる言葉を選んで、文章を書いている。	
4月	単元名・教材名	漢字の広場①（1）
	指導目標	◎5年生までに配当されている漢字を読むとともに文や文章の中で使うことができる。 ・書いた文を読み直し、表現の適切さを確かめることができる。
	言語活動	■絵を説明する文章を書く。
		学習活動 指導上の留意点
	1 教科書の絵を見て、町のあちこちで起こっているいろいろな出来事を想像する。 2 提示された言葉を使い5年生までに習った漢字を正しく書き	・提示された言葉を使い、新聞のようにまとめることを助言する。

	て、例にならって、記事のようにそれぞれの出来事を伝える一文を書く。										
	<p>【関】 絵を見て、様子を想像しながら文を書こうとしている。</p> <p>【書】 表現の効果などを確かめている。</p> <p>【言】 5年生までに習った漢字を正しく使って、文を書いている。</p>										
4月	単元名・教材名	春のいぶき（1～2）									
	指導目標	<p>◎「春」を表す言葉とそれらがもつ意味を知り、その語感、使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。</p> <p>○「春」を感じる言葉を知り、それらの言葉のもつ語感、使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。</p> <p>言語活動 ■「春」を感じるものについて文章を書く。</p>									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1「春」とは何かを考える。</td> <td rowspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> ・「春」からイメージするものを発表する。 ・俳句と、二十四節気の解説を読む。 ・自分が「春」を感じるものを書き出し、その中から一つを選ぶ。 ・「春」を感じる表現の工夫に着目して助言や感想を伝え合う。 </td> </tr> <tr> <td>2自分が感じる「春」について書く。</td> </tr> <tr> <td>3書いた文章をグループで発表し合う。</td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	1「春」とは何かを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・「春」からイメージするものを発表する。 ・俳句と、二十四節気の解説を読む。 ・自分が「春」を感じるものを書き出し、その中から一つを選ぶ。 ・「春」を感じる表現の工夫に着目して助言や感想を伝え合う。 	2自分が感じる「春」について書く。	3書いた文章をグループで発表し合う。			
	学習活動	指導上の留意点									
1「春」とは何かを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・「春」からイメージするものを発表する。 ・俳句と、二十四節気の解説を読む。 ・自分が「春」を感じるものを書き出し、その中から一つを選ぶ。 ・「春」を感じる表現の工夫に着目して助言や感想を伝え合う。 										
2自分が感じる「春」について書く。											
3書いた文章をグループで発表し合う。											
	<p>【関】「春」を感じるものを探そうとしている。</p> <p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「春」を感じるものを一つ取り上げ、200字程度の文章を書いている。 ・「春」を感じる表現やその効果を工夫している。 <p>【言】「春」を表す言葉の語感、言葉の使い方について関心をもっている。</p>										
5月	単元名・教材名	2 筆者の意図をとらえ、自分の考えを発表しよう ・(7) 笑うから楽しい 時計の時間と心の時間									
	指導目標	<p>◎筆者の主張と事例を利用して、考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>○事実と感想・意見などの関係を押さえ、筆者の意図を捉えながら、自分の考えを明確にして読むことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章には、いろいろな構成があることを理解することができる。 <p>◎筆者の考えについて自分はどう考えるかをまとめ、友達と交流し自分の考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>言語活動 ■意見を述べた文章を読み、筆者の考えに対する自分の考えを発表する。</p>									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1学習の見直しをもつ。</td> <td rowspan="6"> <ul style="list-style-type: none"> ・単元名とリード文を確認し、「筆者の意図をとらえ、具体例を挙げながら自分の考えを説明する」という学習課題を確認し、学習計画を話し合う。 ・具体的な事実の部分と筆者の意見を整理しながら、構成を捉える。 ・筆者の考えに対する自分の考えを述べる。 ・筆者の挙げた事実や例の要旨をノートにまとめ、筆者の意見を整理する。 ・経験や例で自分が考えたことを、筆者の意見を取り入れながらノートにまとめる。・文章の構成を捉える。 ・筆者の説明の工夫を理解する。 ・意見を聞き合い、感想を交流する。 ・考えが多様であることを確認する。 ・事例と考えのかかわりについて確かめる。 </td> </tr> <tr> <td>2「笑うから楽しい」を読む。</td> </tr> <tr> <td>3「時計の時間と心の時間」を、自分の考えをもちながら読む。</td> </tr> <tr> <td>4筆者の主張に対する、自分の考えをまとめる。</td> </tr> <tr> <td>5自分の考えを発表する。</td> </tr> <tr> <td>6学習を振り返る。</td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	1学習の見直しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元名とリード文を確認し、「筆者の意図をとらえ、具体例を挙げながら自分の考えを説明する」という学習課題を確認し、学習計画を話し合う。 ・具体的な事実の部分と筆者の意見を整理しながら、構成を捉える。 ・筆者の考えに対する自分の考えを述べる。 ・筆者の挙げた事実や例の要旨をノートにまとめ、筆者の意見を整理する。 ・経験や例で自分が考えたことを、筆者の意見を取り入れながらノートにまとめる。・文章の構成を捉える。 ・筆者の説明の工夫を理解する。 ・意見を聞き合い、感想を交流する。 ・考えが多様であることを確認する。 ・事例と考えのかかわりについて確かめる。 	2「笑うから楽しい」を読む。	3「時計の時間と心の時間」を、自分の考えをもちながら読む。	4筆者の主張に対する、自分の考えをまとめる。	5自分の考えを発表する。	6学習を振り返る。
	学習活動	指導上の留意点									
1学習の見直しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元名とリード文を確認し、「筆者の意図をとらえ、具体例を挙げながら自分の考えを説明する」という学習課題を確認し、学習計画を話し合う。 ・具体的な事実の部分と筆者の意見を整理しながら、構成を捉える。 ・筆者の考えに対する自分の考えを述べる。 ・筆者の挙げた事実や例の要旨をノートにまとめ、筆者の意見を整理する。 ・経験や例で自分が考えたことを、筆者の意見を取り入れながらノートにまとめる。・文章の構成を捉える。 ・筆者の説明の工夫を理解する。 ・意見を聞き合い、感想を交流する。 ・考えが多様であることを確認する。 ・事例と考えのかかわりについて確かめる。 										
2「笑うから楽しい」を読む。											
3「時計の時間と心の時間」を、自分の考えをもちながら読む。											
4筆者の主張に対する、自分の考えをまとめる。											
5自分の考えを発表する。											
6学習を振り返る。											
	<p>【関】 筆者の意見に関心を持ち、自分の考えをもとうとしている。</p> <p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張と根拠を読み取り、自分の経験を振り返り、自分の考えをもとうとしている。 ・発表し合うことで、友達と自分との共通点や相違点を明らかにし、自分の考えを深めている。 ・筆者の主張を利用して、自分の考えを具体例とともに発表できている。 <p>【言】 筆者が結論に至るまでの過程について、文章の構成を理解している。</p>										
5月	単元名・教材名	・学級討論会をしよう 伝えにくいことを伝える（7）									
	指導目標	<p>◎互いの立場や意図をはっきりさせながら、疑問点を整理して自分の意見を言ったり、質問をしたりして、討論することができる。</p> <p>○討論会の話題に沿って、話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・討論会における言葉の使い方などについて関心をもつことができる。 <p>言語活動 ■討論会をする。</p>									
	学習活動	指導上の留意点									

	<p>1 学習の見直しをもつ。</p> <p>2 討論会について知る。</p> <p>3 議題を決める。</p> <p>4 グループを作り、役割を決める。</p> <p>5 討論会の準備をする。</p> <p>6 学級討論会を開く。</p> <p>7 学習を振り返る。</p> <p>8 意見の伝え方について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの話し合いで、うまくいったことや難しかったことなどを出し合う。 ・「立場を明確にして主張し合い、考えを深め合う討論会をする」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・役割や進め方を理解する。 ・音声CDを聞いて、説得力のある話し方や質問のしかたについて考える。 ・全員が、肯定・否定、両方の立場から自分なりに理由を挙げて考える。 ・それぞれの役割で重要な点を確認する。 ・進行役のグループは、発言の順番や時間の計画を立てる。 ・主張するグループは、主張や根拠を整理する。 ・聞くグループは、メモを取りながら聞き、質問したり、最後にまとめを述べたりする。 ・討論会の様子を記録し、相互評価をする。 ・役割を交代して再度討論会を行う。 ・討論会を通して、進め方で工夫したことや自分の考えが広がったことを確かめる。 ・P50のコラムを読む。 ・提示された場面を選んでやり取りする。
	<p>【関】 討論の形式や話題に興味をもち、積極的に参加しようとしている。</p> <p>【話・聞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話題に対する肯定・否定両方の立場で自分の考え方、感じ方をもっている。 ・討議の順序や進め方の調整、対立の調整などが必要なことを理解し、話し合っている。 ・自分の主張・根拠と対比しながら聞いている。 <p>【言】 意見や質問のよりよい述べ方や、言葉の選び方に関心をもっている</p>	
6月	単元名・教材名	漢字の形と音・意味 (2)
	指導目標	◎漢字を組み立てている部分には、音を表すものや意味を表すものがあることを理解することができる。
	学習活動	指導上の留意点
	<p>1 「同じ部分をもつ漢字」には、形と音が共通する場合があることを理解する。</p> <p>2 「同じ部分をもつ漢字」には、意味につながりがある場合があることを理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・P52の設問に取り組む。 ・付録「六年間に習う漢字」から、提示された四つの部分をもつ漢字を集める。 ・部分が表す意味を考えた後、漢字辞典で調べる。
	<p>【関】 漢字の形・音・義に興味をもって課題に取り組もうとしている。</p> <p>【言】 漢字の特質について理解し、調べたことを発表している。</p>	
6月	単元名・教材名	本は友達 ・私と本 森へ [コラム] 施設を利用して、本の世界を広げよう
	指導目標	◎これまでの本との関わり方を振り返り、グループで発表し合うことで、今後の読書生活の幅を広げることができる。 ・自分の考えを明確に表現するため、語句と語句の関係を理解し、文章全体の構成の効果を考えることができる。
	言語活動	■本を推薦する文章を書く。
	学習活動	指導上の留意点
	<p>1 学習の見直しをもつ。</p> <p>2 自分と本との関わりを振り返る。</p> <p>3 P56を参考に、自分と本との関わりについて、考えたことを交流する。</p> <p>4 「いちばん心に残っている本」について考える。</p> <p>5 「森へ」を読む。</p> <p>6 「いちばん心に残っている本」について文章を書く。</p> <p>7 学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リード文や「活動の流れ」を読み、目標と学習計画を立てる。 ・読書記録などをもとにする。 ・調べ学習をするとき、使った本を思い出す。 ・印象深い部分に線を引くなどして、その理由を考えてまとめる。 ・P70 作例を読み、自分の感想と比べ、気づいたことをグループで交流する。 ・その本との関わりを考え、選んだ理由が伝わるようにする。 ・書き終わったら、友達と交流する。 ・学習やP72のコラムなどを参考に、今後の読書生活について幅の広げ方を考える。

	<p>【関】これまでの読書体験を振り返り、本との関わりについて考えようとしている。</p> <p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本を読んで考えたことを、友達と伝え合い、友達の体験や本との関わり合いに学んでいる。 ・本を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり、深めたりしている。 ・今までの読書体験を振り返って、その本と自分の関わりから「いちばん心に残っている本」を選んで推薦文を書いている。 <p>【言】自分の考えを明確にして、効果を考えて推薦の文章を書いている。</p>				
6月	<p>単元名・教材名 漢字の広場② (1)</p> <p>指導目標 ◎5年生までに配当されている漢字を読むとともに文や文章の中で使うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書いた文を読み直し、表現の適切さを確かめることができる。 <p>言語活動 ■絵を説明する文章を書く。</p>				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>1 教科書の絵を見て、遊園地での人々の行動を想像する。</p> <p>2 提示された言葉を使い、5年生までに習った漢字のもつ意味を考えながら、同音異義語などに注意して正しく使い、例にならって遊園地での人々の行動を文にする。</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・形だけではなく、音も共通する部分があることや意味の上でつながりがあることを押さえる。 </td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	<p>1 教科書の絵を見て、遊園地での人々の行動を想像する。</p> <p>2 提示された言葉を使い、5年生までに習った漢字のもつ意味を考えながら、同音異義語などに注意して正しく使い、例にならって遊園地での人々の行動を文にする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・形だけではなく、音も共通する部分があることや意味の上でつながりがあることを押さえる。
	学習活動	指導上の留意点			
	<p>1 教科書の絵を見て、遊園地での人々の行動を想像する。</p> <p>2 提示された言葉を使い、5年生までに習った漢字のもつ意味を考えながら、同音異義語などに注意して正しく使い、例にならって遊園地での人々の行動を文にする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・形だけではなく、音も共通する部分があることや意味の上でつながりがあることを押さえる。 			
<p>【関】絵を見て、様子を想像しながら文を書こうとしている。</p> <p>【書】表現の効果などを確かめている。</p> <p>【言】5年生までに習った漢字を正しく使って、文を書いている。</p>					
<p>単元名・教材名 河鹿の屏風 (1)</p> <p>指導目標 ◎読み聞かせを聞きながら、登場人物の相互関係や心情、場面をとらえることができる。</p> <p>言語活動 ■昔話の読み聞かせを聞く。</p>					
6月	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>1 読み聞かせを聞く。</p> <p>2 P256「河鹿の屏風」の本文を、自分で読む。</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・人物や場面の様子を想像する。 ・どのような情景や人物像を思い浮かべたかを発表し合う。 </td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	<p>1 読み聞かせを聞く。</p> <p>2 P256「河鹿の屏風」の本文を、自分で読む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人物や場面の様子を想像する。 ・どのような情景や人物像を思い浮かべたかを発表し合う。
	学習活動	指導上の留意点			
	<p>1 読み聞かせを聞く。</p> <p>2 P256「河鹿の屏風」の本文を、自分で読む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人物や場面の様子を想像する。 ・どのような情景や人物像を思い浮かべたかを発表し合う。 			
	<p>【関】昔話に興味をもち、読み聞かせを楽しもうとしている。</p> <p>【読】昔話の読み聞かせを聞いて、場面の情景や登場人物の相互関係や心情を想像している。</p> <p>【言】言葉のリズムや表現の美しさを、楽しみながら聞いている。</p>				
<p>単元名・教材名 夏のさかり (1～2)</p> <p>指導目標 ◎「夏」を表す言葉を知り、それらの言葉がもつ語感、使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。</p> <p>○「夏」から想像する言葉を集め、表現を工夫して俳句を作ることができる。</p> <p>言語活動 ■俳句を作る。</p>					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>1 二十四節気の解説や俳句を読む。</p> <p>2 1で自分が感じた夏の風景などを俳句に表す。</p> <p>3 書いた俳句をグループで発表し合う。</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が感じる「夏」と比べる。 ・俳句の形式や約束を確認する。 ・言葉や表現を工夫する。 ・友達の表現に着目し、助言し合う。 </td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	<p>1 二十四節気の解説や俳句を読む。</p> <p>2 1で自分が感じた夏の風景などを俳句に表す。</p> <p>3 書いた俳句をグループで発表し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が感じる「夏」と比べる。 ・俳句の形式や約束を確認する。 ・言葉や表現を工夫する。 ・友達の表現に着目し、助言し合う。 	
学習活動	指導上の留意点				
<p>1 二十四節気の解説や俳句を読む。</p> <p>2 1で自分が感じた夏の風景などを俳句に表す。</p> <p>3 書いた俳句をグループで発表し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が感じる「夏」と比べる。 ・俳句の形式や約束を確認する。 ・言葉や表現を工夫する。 ・友達の表現に着目し、助言し合う。 				
<p>【関】「夏」を感じるものや風景を探そうとしている。</p> <p>【書】俳句の形式を知り、「夏」を感じるものや風景の俳句を作っている。</p> <p>【言】「夏」を表す言葉の語感、言葉の使い方について関心をもっている。</p>					
6 7 月	<p>単元名・教材名 3 町のよさを伝えるパンフレットを作ろう ・ようこそ、私たちの町へ (1 2)</p> <p>指導目標 ◎パンフレットという様式の特徴を理解したうえで、集めた事柄を整理し、文章全体の構成や、目次や見出し、リード文、解説文などを工夫することができる。</p> <p>○引用したり、写真や図を用いたりして、表現を工夫し、伝えたいことが明確になるように書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットについて、目的や構成の観点から助言し合うことができる。 <p>言語活動 ■町のよさを多くの人に伝えるための文章を書き、編集する。</p>				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>1 学習の見直しをもつ。</p> <p>2 パンフレットの構想を練る。</p> <p>3 取材をする。</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の町のよいところや特徴を話し合う。 ・パンフレットを集め、そこにどのような情報が書いてあるかを調べる。 ・「町のよさを伝えるパンフレットを作ろう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・ブレインストーミングをしたり、図表を使ったりして、アイデアを出す。 ・意見を観点ごとに整理する。 ・取材の分担を決める。 ・学校図書館などを活用し、資料のもとになる情報を集 </td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	<p>1 学習の見直しをもつ。</p> <p>2 パンフレットの構想を練る。</p> <p>3 取材をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の町のよいところや特徴を話し合う。 ・パンフレットを集め、そこにどのような情報が書いてあるかを調べる。 ・「町のよさを伝えるパンフレットを作ろう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・ブレインストーミングをしたり、図表を使ったりして、アイデアを出す。 ・意見を観点ごとに整理する。 ・取材の分担を決める。 ・学校図書館などを活用し、資料のもとになる情報を集
	学習活動	指導上の留意点			
	<p>1 学習の見直しをもつ。</p> <p>2 パンフレットの構想を練る。</p> <p>3 取材をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の町のよいところや特徴を話し合う。 ・パンフレットを集め、そこにどのような情報が書いてあるかを調べる。 ・「町のよさを伝えるパンフレットを作ろう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・ブレインストーミングをしたり、図表を使ったりして、アイデアを出す。 ・意見を観点ごとに整理する。 ・取材の分担を決める。 ・学校図書館などを活用し、資料のもとになる情報を集 			
<p>【関】「夏」を感じるものや風景を探そうとしている。</p> <p>【書】俳句の形式を知り、「夏」を感じるものや風景の俳句を作っている。</p> <p>【言】「夏」を表す言葉の語感、言葉の使い方について関心をもっている。</p>					
<p>【関】「夏」を感じるものや風景を探そうとしている。</p> <p>【書】俳句の形式を知り、「夏」を感じるものや風景の俳句を作っている。</p> <p>【言】「夏」を表す言葉の語感、言葉の使い方について関心をもっている。</p>					

	<p>4パンフレットの構成を決める。</p> <p>5パンフレットを作る。</p> <p>6パンフレットを読み合い、互いに助言し合う。</p> <p>7学習を振り返る。</p>	<p>める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知りたいことに応じて、適切な取材方法を選ぶ。 ・相手や目的に応じて情報を取捨選択する。 ・ページの割り付けや目次立てを考える。 ・記事の下書きをグループで読み合い、推敲する。 ・割り付けに従って記事や写真などを配置する。 ・清書し、完成させる。 ・学校図書館や校内に提示してもよい。 ・感想を参考に、町のよさを伝えるために、どのような工夫をしたかを確かめる。
	<p>【関】 構成や記述のしかたを考え、パンフレットを作ろうとしている。</p> <p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書くことを決める際、ブレインストーミングを活用して、アイデアを出し合っている。 ・目的や相手の知りたい情報に応じて、文章の内容を考えている。 ・文章全体の効果を考えてキャッチコピーを付けるなど、本文を工夫して書いている。 ・図表やグラフの特徴、効果を考えて用いている。 ・他の人の文章について、目的に照らしてよりよくするための助言をしている。 <p>【言】 効果という観点から構成や表現を考えて書いている。</p>	
9月	<p>単元名・教材名 ・せんねん まんねん (1)</p>	
	<p>指導目標 ◎詩を読んで感じたことや考えたことが伝わるように音読することができる。(読(1)ア) ○詩における反復表現の工夫に気づくことができる。</p>	
	<p>言語活動 ■詩を音読する。</p>	
	<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>
<p>1 詩を音読する。</p> <p>2 グループで音読発表をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・詩を読んで、自分の感じたことを書く。 ・自分の感じたことが伝わるように工夫する。 ・詩における反復表現の工夫に気づく。 ・友達の音読のよいところや工夫点を交流する。 	
	<p>【関】 詩の表現を意識して、自分なりに工夫して読もうとしている。</p> <p>【読】 自分の印象や自分なりに大切だと思うところが伝わるように音読している。</p> <p>【言】 反復表現の工夫に気づいている。</p>	
9月	<p>単元名・教材名 ・熟語の成り立ち (2)</p>	
	<p>指導目標 ◎熟語の構成などについて理解を深めることができる。</p>	
	<p>言語活動 ■熟語の成り立ちを調べる。</p>	
	<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>
<p>1 漢字二字・三字の熟語の成り立ちを理解する。</p> <p>2 漢字四字以上の熟語の成り立ちを理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字辞典を使って意味を調べる。 ・漢字三字の熟語のでき方の特徴を捉える。 ・熟語例を使って確かめたり、知っている熟語をつなげて、長い熟語を作ったりする。 	
	<p>【関】 さまざまな構成の熟語について、進んで調べようとしている。</p> <p>【言】 語句の構成やその違いを理解している。</p>	
9月	<p>単元名・教材名 ・たのしみは (3)</p>	
	<p>指導目標 ◎短歌のもつ表現の効果を確かめたり、工夫したりすることができる。 ◎作った短歌を発表し合い、表現のしかたに着目して助言し合うことができる。 ○短歌を読み、昔の人のもの見方や感じ方を知ることができる。</p>	
	<p>言語活動 ■短歌を作る。</p>	
	<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>
<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <p>2 短歌にしたい場面を決める。</p> <p>3 選んだ「たのしみ」を短歌で表現する。</p> <p>4 短歌を短冊に清書する。</p> <p>5 グループで、短歌を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『たのしみ』をテーマに短歌を作ろう』という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・P89の短歌二首を読み、内容を理解する。 ・自分なりの「たのしみ」を探し、その時の様子や気持ちを細かく思い出す。 ・短歌のリズムや決まりを確かめる。 ・表現を工夫する。 ・表現のしかたに着目して感想を伝え合う。 	
	<p>【関】 表現のしかたを確かめながら、短歌を作ろうとしている。</p> <p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条件に合わせて短歌を作っている。 ・よりよくするため表現の工夫をしている。 	

	【言】語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心を持ちながら短歌を作っている。	
9月	単元名・教材名	・漢字の広場③(1)
	指導目標	◎5年生までに配当されている漢字を、正しく文の中で使うことができる。 ・書いた文章を読み直し、表現の適切さを確かめることができる。
	言語活動	■物語を書く。
	学習活動	指導上の留意点
	1教科書の絵を見て、主人公や登場人物の行動から主人公の冒険を考え、作家になったつもりでファンタジーの物語を想像する。 2提示された言葉を使い、5年生までに習った漢字を、意味を考ながら正しく書き、例にならって絵にふさわしい物語を書く。	
	【関】絵を見て、様子を想像しながら物語を書こうとしている。 【書】表現の効果などを確かめている。 【言】5年生までに習った漢字を正しく使って、文や文章を書いている。	
9月 ～ 10月	単元名・教材名	4 意見を聞き合って考えを深め、意見文を書こう 未来がよりよくあるために [資料] 平和のとりでを築く(11)
	指導目標	◎話し合いで深めた考えをもとに、構成を工夫して、自分の意見を明確に伝える文章を書くことができる。 ◎互いの考えの違いや意図をはっきりさせ計画的に話し合することができる。 ○よりよい未来を巡る自分の意見が説得力をもつように具体例や資料を集め、適宜図表やグラフなどを用いることができる。
	言語活動	■意見文を書く。■グループで話し合う。
	学習活動	指導上の留意点
	1学習の見直しをもつ。 2「どんな未来にしていきたいか」を書き出す。 3グループで意見とその理由を聞き合う。 4意見文の組み立てを考える。 5意見文を書く。 6書いた意見文を、グループで交流する。 7学習を振り返る。	・「意見を聞き合って考えを深め、意見文を書こう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・P100「平和のとりでを築く」を読み、よりよい未来のための行動を考えるきっかけにする。 ・考えの根拠となる情報を、学校図書館やインターネットなどの資料から調べる。 ・音声CDを聞いて、話し方や質問のしかたについて、自分たちとの違いに気づく。 ・互いに助言や質問をして、考えを深める。 ・P98 作例も参考にしながら、意見文の書き方と工夫を確認する。 ・集めた情報や友達の考えなどを付箋に書き出し、構成表を作る。 ・説得力がある書き方だと思った部分を伝え合う。 ・説得力をもたせるための工夫点や、友達の発言で自分の考えを深められたかを確認する。
	【関】「未来がよりよくあるために」どのようなことをすればいいのか、友達の意見も聞いて考え、自分の考えを書こうとしている。 【書】 ・情報収集のため、学校図書館やインターネットなどで資料を調べ、本や文章を読み比べて必要な情報を要約したり、引用したりして用いている。 ・自分の考えや意見とは異なる立場に立つ他者の存在を意識し、構成を工夫して書いている。 ・注釈や引用などを用いて自分の意見が説得力をもつように書いている。 【話・聞】互いの立場や意図をはっきりさせながら、質問や助言を入れて、計画的に話し合っている。 【言】書き言葉と話し言葉の違いに注意しながら意見文を書いている。	
10月	単元名・教材名	漢字の広場④(1)
	指導目標	◎5年生までに配当されている漢字を、正しく文の中で使うことができる。 ・書いた文章を読み直し、表現の適切さを確かめることができる。※以下、漢字の広場①(4月)に準ずる
	言語活動	■絵を説明する文章を書く。
	学習活動	指導上の留意点
	1教科書の絵と言葉を見て、自分が見学したつもりになって、家の人に伝えたいテレビ局の様子を考える。 2提示された言葉を使い、5年生までに習った漢字を、意味を考ながら正しく書き、例にならって、テレビ局の様子を分かりやすく説明する。	
	【関】絵を見て、様子を想像しながら説明文を書こうとしている。 【書】相手に伝えるための表現の効果などを確かめている。	

	【言】 5年生までに習った漢字を正しく使って、文を書いている。	
10月	単元名・教材名	生活の中の言葉（2）
	指導目標 ◎日常の言語生活を見直し、敬語を適切に使ったり、世代間で言葉遣いが違うことに気づいたりすることができる。	
	学習活動	指導上の留意点
	1 日常生活の中で出会うさまざまな人に対する自分の言葉遣いを振り返り、適切な言葉遣いができているかを話し合う。 2 例文を見て敬語とその種類の違いを見つけることができる。 3 後の例文の表現を適切な敬語に言い換える。 4 世代による言葉の違いがあることを知り、自分の身の回りから例を探し、ノートに書いて発表し合う。	
	【関】 敬語や世代による言葉の違いを中心に、自分の言語生活を見直そうとしている。 【言】 ・敬語の使い方を確認しながら例文を適切な表現に直している。 ・日常生活の中から、世代により言葉が違っている例を見つけ出している。	
10月	単元名・教材名	5 自分の感じたことを、朗読で表現しよう ・やまなし [資料] イーハトーヴの夢（8）
	指導目標 ◎作品の特徴や作者の思いを捉え、自分の感じたことが伝わるように朗読することができる。（読(1)ア・イ） ○場面についての描写を捉え、作品の中で使われている表現を味わいながら、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。	
	言語活動	■朗読で表現する。■関連する文章を読む。
	学習活動	指導上の留意点
	1 学習の見直しをもつ。 2 「やまなし」と「イーハトーヴの夢」を読む。 3 「やまなし」を自分なりに捉える。 4 作者がなぜ「やまなし」という題名にしたのかを考える。 5 グループで話し合い、朗読する場面を選ぶ。 6 グループで朗読の練習をする。 7 みんなの前で選んだ場面を朗読し、聞き合った感想を互いに伝え合う。 8 学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> これまでの音読・朗読学習を振り返ったり、教材文の朗読CDを聞いたりする。 「自分が感じたことを、朗読にこめて表現しよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 賢治の生き方や考え方について話し合う。 二枚の青い凧灯を簡単な絵や図に表す。 「五月」と「十二月」の場面对比し、感じたことや考えたことをまとめる。 心ひかれる作者独特の言葉や表現に線を引き、その情景を想像する。 P132「言葉」をもとに、比喩の効果を考える。 どのように朗読するのか、音読記号を付けながら考える。 感じ取った自分の思いが伝わるかどうかを相互評価しながら、工夫して声に出す。
	【関】 物語の情景や言葉の使い方に興味をもったり、作者の考え方や生き方を知ったりしようとしている。 【読】 ・読んで感じ取った自分の思いが伝わるように朗読している。 ・二つの場面を比べたり、資料を読んだりすることで、作品の特徴や作者の思いを捉えている。 ・場面についての描写を捉えて、優れた叙述について自分の考えをまとめている。 【言】 ・語のリズムや表現のもつ美しさについて関心をもちながら、物語を朗読している。 ・比喩などの表現上の特色について気づいている。	
10月 11月	単元名・教材名	秋の深まり 〇
	指導目標◎秋を感じる言葉を見つけて短歌を創作することができる。 ・短歌を発表し、表現のしかたに着目して助言し合うことができる。	
	言語活動	■短歌を作る。
	学習活動	指導上の留意点
	1 「秋」を感じる言葉を出し合う。 2 「秋」をテーマに短歌を作る。 3 短歌を発表し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 二十四節気の意味を確認する。 俳句二句のおおまかな意味を捉える。 短歌の決まりを確認する。 「秋」を感じる表現のしかたに着目して助言や感想を伝え合う。
	【関】 季節を表す言葉などに興味をもっている。 【書】	

	<ul style="list-style-type: none"> ・季節を表す言葉を集め、短歌を創作している。 ・短歌を発表し合い、表現のしかたに着目して助言し合っている。 <p>【言】「秋」を表す言葉の語感、言葉の使い方について関心をもっている。</p>				
11月	単元名・教材名	6 筆者のものの見方をとらえ、自分の考えをまとめよう・『鳥獣戯画』を読む [コラム] 絵画や写真を見るときは (6)			
	指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ◎絵と文章との関係を押さえて筆者の考え方を捉え、自分の考えを明確にしながらか読むことができる。 ○文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 			
	言語活動	■絵を解説した文章を読み、自分のものの見方を広げる。			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 1 学習の見通しをもつ。 2 文章と絵を照らし合わせながら、教材文を読む。 3 筆者の表現や構成の工夫点を整理する。 4 筆者のものの見方や感じ方と、自分の感じ方を比べる。 5 P145②について、自分の考えをまとめる。 6 書いたものを読み合う。 7 学習を振り返る。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・P137の絵を見て感じたことを書く。 ・教材文を読み、筆者のものの見方や感じ方と自分の感じ方の違いに気づく。 ・「筆者のものの見方をとらえ、自分の考えをまとめる」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・P144に示された観点に沿って考える。 ・絵や絵巻物に対する筆者の説明と評価を捉え、自分の考えや感想をまとめる。 ・200字程度の文章に書く。 ・友達と自分のものの見方や感じ方の共通点と相違点を感想として伝える。 ・筆者の文章の書き方の工夫を確かめる。 ・ものの見方には多様性があることを確かめる。 </td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	1 学習の見通しをもつ。 2 文章と絵を照らし合わせながら、教材文を読む。 3 筆者の表現や構成の工夫点を整理する。 4 筆者のものの見方や感じ方と、自分の感じ方を比べる。 5 P145②について、自分の考えをまとめる。 6 書いたものを読み合う。 7 学習を振り返る。
学習活動	指導上の留意点				
1 学習の見通しをもつ。 2 文章と絵を照らし合わせながら、教材文を読む。 3 筆者の表現や構成の工夫点を整理する。 4 筆者のものの見方や感じ方と、自分の感じ方を比べる。 5 P145②について、自分の考えをまとめる。 6 書いたものを読み合う。 7 学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・P137の絵を見て感じたことを書く。 ・教材文を読み、筆者のものの見方や感じ方と自分の感じ方の違いに気づく。 ・「筆者のものの見方をとらえ、自分の考えをまとめる」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・P144に示された観点に沿って考える。 ・絵や絵巻物に対する筆者の説明と評価を捉え、自分の考えや感想をまとめる。 ・200字程度の文章に書く。 ・友達と自分のものの見方や感じ方の共通点と相違点を感想として伝える。 ・筆者の文章の書き方の工夫を確かめる。 ・ものの見方には多様性があることを確かめる。 				
	<p>【関】絵巻物に対する筆者の見解に興味をもち、文章を読もうとしている。</p> <p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者がどのようなことを根拠として考えを述べているのかを捉えている。 ・筆者の意図と表現の工夫との関連について考えている。 ・自分と他者とのものの見方や感じ方の共通点と相違点を明らかにし、自分の考えを深めている。 <p>【言】文末表現や助詞の使い方など、語句に着目して読み、語句と語句との関係を理解している。</p>				
11	単元名・教材名	この絵、私はこう見る (6)			
	指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ◎表現の効果を確かめたり工夫したりして書くことができる。 ○絵から感じたことの中から書くことを決め、全体を見通して事柄を整理することができる。(書(1)ア) ○事実と感想、意見などを区別するとともに、必要に応じて絵の様子を簡単に書いたり詳しく書いたりすることができる。表現の効果を確かめたり工夫したりして書くことができる。 			
	言語活動	■絵から読み取ったこと、感じたことを伝える文章を書く。			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 1 学習の見通しをもつ。 2 P148の絵を見る。 3 絵から読み取ったこと、感じたことを文章に書く。 4 書いたものを読み合う。 5 学習を振り返る。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館にある本やP150で紹介されている本を読むなどして、絵から読み取ったこと、感じたことを述べ合う。 ・「絵を見て読み取ったことや感じたことを、よりよく伝える」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・読み取ったことや感じたことを付箋に書き出す。 ・事実と感想を区別する。 ・何をどの順序で書くか決める。 ・P149の例や囲み内を参考にする。 ・絵の見方や表現についての感想を交流する。 ・交流後に、改めて絵を見る。 ・自分や友達がどのような表現の工夫をしたか確かめる。 </td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	1 学習の見通しをもつ。 2 P148の絵を見る。 3 絵から読み取ったこと、感じたことを文章に書く。 4 書いたものを読み合う。 5 学習を振り返る。
学習活動	指導上の留意点				
1 学習の見通しをもつ。 2 P148の絵を見る。 3 絵から読み取ったこと、感じたことを文章に書く。 4 書いたものを読み合う。 5 学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館にある本やP150で紹介されている本を読むなどして、絵から読み取ったこと、感じたことを述べ合う。 ・「絵を見て読み取ったことや感じたことを、よりよく伝える」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・読み取ったことや感じたことを付箋に書き出す。 ・事実と感想を区別する。 ・何をどの順序で書くか決める。 ・P149の例や囲み内を参考にする。 ・絵の見方や表現についての感想を交流する。 ・交流後に、改めて絵を見る。 ・自分や友達がどのような表現の工夫をしたか確かめる。 				
	<p>【関】絵画に興味をもち、自分なりに絵から読み取ったことを伝えようとしている。</p> <p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵の中にある情報を、適切に区別したり関連づけたりしている。 ・絵から読み取ったことと感じたことを区別して書いている。 ・自分の見方や感じ方が伝わるように、表現を工夫して書いている。 <p>【言】語句と語句との関係を考えながら、文章の中で使っている。</p>				
11月	単元名・教材名	漢字を正しく使えるように [コラム] 覚えておきたい言葉 (2)			
	指導目標	◎送り仮名や仮名遣いに注意して漢字を正しく書くことができる。			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	
学習活動	指導上の留意点				

	1 適切な漢字を書くための方法にならない、例に挙がっている漢字から適切に選ぶ。 2 設問の漢字の間違いを正しく書き換える。 3 「覚えておきたい言葉」に出てくる言葉について、辞書を引いて意味を知る。		
	【関】 送り仮名や仮名遣いを確かめながら、漢字を書こうとしている。 【言】 送り仮名や仮名遣いを確認しながら、適切な表現に直している。		
11 月 12 月	単元名 教材名	7 伝統文化を楽しもう 伝えられてきたもの 狂言 柿山伏 柿山伏について (5)	
	指導目標	◎「柿山伏」を、役割を決めて自分の思いが伝わるように音読することができる。 ○昔の人のものの見方や感じ方を知ったり、時間の経過による文字や言葉の変化に気づいたりすることができる	
	言語活動	■伝統文化を楽しむ。	
		学習活動	指導上の留意点
	1 学習の見直しをもつ。 2 「伝えられてきたもの」を読む。 3 「柿山伏」と『柿山伏』について」を読む。 4 グループに分かれ、「柿山伏」の音読練習をする。 5 音読発表をし、感想を交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「柿山伏」の朗読CDを聞き、感想を交流する。 ・「狂言を楽しみ、音読しよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・伝統文化についての知識を得る。 ・狂言独特の表現と「柿山伏」の話の筋を理解する。 ・狂言のおもしろさについて考える。 	
	【関】 日本の伝統文化に興味や親しみをもとうとしている。 【読】 狂言独特の表現や調子のおもしろさを意識し、楽しみながら声に出して読んでいる。 【言】 ・現代に通じる昔の人のものの見方や感じ方について気づいたことを発表している。 ・現代と違う文字や言葉遣い、言い回しに気づいている。		
12 月	単元名・教材名	日本で使う文字 (2)	
	指導目標	◎仮名および漢字の由来、特質などについて理解できる。	
		学習活動	指導上の留意点
	1 「仮名の由来」を読む。 2 「日本語の表記について」「ローマ字との関わり」を読む。	<ul style="list-style-type: none"> ・P170 の一覧を見ながら、平仮名・片仮名の由来について理解する。 ・日本語には、平仮名、片仮名、漢字交じり、ローマ字など複数の表記方法があることと、それぞれの特徴を理解する。 	
	【関】 日本で使うさまざまな文字について理解しようとしている。 【言】 仮名及び漢字の由来、日本語の特質などについて理解している。		
12 月	単元名・教材名	・漢字の広場 (1)	
	指導目標	◎5年生までに配当されている漢字を、正しく文の中で使うことができる。 ・書いた文章を読み直し、表現の適切さを確かめることができる。	
	言語活動	■絵を説明する文章を書く。	
		学習活動	指導上の留意点
	1 教科書の絵を見て、商店街の通りやお店の中の様子や会話を想像する。 2 提示された言葉を使い、5年生までに習った漢字を正しく書き、会話を入れた文章を書く。		
	【関】 絵を見て、様子を想像しながら文章を書こうとしている。 【書】 表現の効果などを確かめている。 【言】 5年生までに習った漢字を正しく使って、文や文章を書いている。		
12 月	単元名・教材名	・表現を選ぶ (3)	
	指導目標	◎話し言葉と書き言葉の違いに気づくことができる。 ○語句の係り方や照応のしかたなどに気づくことができる。 ・目的に応じて書き言葉に表し、表現のしかたや構成に着目して助言することができる。 ◎事実と感想・意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすることができる。	
	言語活動	■話し言葉を書き言葉に書き換える。	
		学習活動	指導上の留意点
	1 教材文を読み、P172 の例文を、人に伝える表現に変える。		

	2なぜそのように変えたか発表し合い、その条件を整理する。 3話し言葉と書き言葉の違いについて整理する。 4相手や場面による違いを表にして整理する。	・P175の設問について考え、友達と話し合う。
	【関】話し言葉と書き言葉の違いに興味をもち、場面や相手に応じた表現をしようとしている。 【書】書き言葉に表して、表現のしかたに着目して助言し合っている。 【言】 ・話し言葉と書き言葉のそれぞれの特徴を理解している。 ・構成や内容を考え、適切な文を書いている。	
12月	単元名・教材名	・天地の文（1）
	指導目標	◎親しみやすい古文について、内容の大体を知り、音読することができる。 ○昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。
	言語活動	■古文を音読する。
	学習活動	指導上の留意点
	1教材文を繰り返し音読する。 2大意を参考に、内容の大体を捉える。 3筆者の考えについて、自分の感想を述べる。	・人の暮らしの基本となる時間、週日などの決め事について書かれていることを理解する。
	【関】昔の人のものの見方や感じ方を考えようとしている。 【言】 ・古文の内容の大体を知り、特徴あるリズムを感じながら音読している。 ・昔の人のものの見方や感じ方を理解している。	
1月	単元名・教材名	8 筆者の考えをとらえ、自分の考えと比べて書こう ・自然に学ぶ暮らし（6）
	指導目標	◎事実と感想・意見などとの関係を押さえながら文章の内容を的確に押さえ、筆者の考えと比べながら自分の考えを明確にすることができる。 ○文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
	言語活動	■意見を述べた文章を読む。
	学習活動	指導上の留意点
	1学習の見通しをもつ。 2筆者の挙げている事例を整理する。 3筆者の考えている「新しい暮らし方」がどのようなものかをまとめる。 4筆者の考えと自分の考えを比べる。 5自分の考える理想的な未来の社会について、文章に書いてまとめる。 6学習を振り返る。	・教材文を読み、初発の感想を述べる。 ・「筆者の考えを整理して、自分の考えと比べて書こう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・自分たちの暮らし方と比べる。 ・筆者の「新しい暮らし方」について、自分の考えとの共通点・相違点を発表する。 ・書いた文章を読み合い、自分の考えを深めたり、広げたりする。 ・筆者の考えと自分の考えを比べることで、自分の考えが広がったり深まったりしたことを確認する。
	【関】自然の仕組みとそれを暮らしに生かす筆者の考え方に興味をもって、文章を読もうとしている。 【読】 ・どのような事例や根拠を用いて、どのような考えを述べているのかを捉えている。 ・筆者の考えについて、経験や知識と照らし合わせて、自分の考えをまとめている。 【言】目的に応じて文や文章にはいろいろな構成があることを理解している。	
1月	単元名 教材名	漢字の広場⑥（1）
	指導目標	◎5年生までに配当されている漢字を、正しく文の中で使うことができる。（伝国(1)ウ(ア)） ・書いた文章を読み直し、表現の適切さを確かめることができる。（
	言語活動	■絵を説明する文章を書く
	学習活動	指導上の留意点
	1教科書の絵を見て、絵の中の少年の小学校生活について、いつ、どんなことがあったか、そのときどんな気持ちだったかを想像する。 2提示された言葉を使い、5年生までに習った漢字を正しく書いて、出来事や気持ちを想像しながら文章を書く。	
	【関】絵を見て、出来事や気持ちを想像し、分かりやすい文章を書こうとしている。 【書】表現の効果などを確かめている。 【言】5年生までに習った漢字を正しく使って、文や文章を書いている。	

1月	単元名・教材名	・忘れられない言葉（6）	
	指導目標	◎経験から書くことを決め、そこから自分の考えや気持ちを掘り起こし、書く事柄を整理することができる。 ◎事実と感想・意見などを区別するとともに、意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすることができる。	
	言語活動	■随筆を書く。	
		学習活動	指導上の留意点
	1 「随筆」という文章様式を知る。 2 「これまでに会った忘れられない言葉について随筆を書こう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 3 随筆の文章構成や工夫点を知る。 4 随筆を書く。 5 随筆を清書する。		<ul style="list-style-type: none"> ・「ふわふわの雪」を例に、「随筆」の書き方や内容の特徴を具体的に理解する。 ・作例を読み、構成と表現の面から、工夫点を考える。 ・忘れられない言葉と、その言葉に出会ったときのことを書き出す。 ・下書きを友達と読み合い、助言し合う。 ・助言をもとに推敲する。 ・作品を読み合い、感想を交流する。
	【関】随筆という文章様式を知り、自分らしさの表れた随筆を書こうとしている。 【書】 ・家庭、学校、社会など広い範囲から書くことを決めている。 ・出来事などの描写と自分の気持ちや感想を書き分けている。 【言】随筆という文章様式があることを理解している。		
2月	単元名・教材名	・カンジ博士の山登り（2）	
	指導目標	◎漢字クイズを通して、漢字の知識を確かめることができる。 ◎紛らわしい送り仮名に気をつけて、読んだり書いたりすることができる。2つの作品を読み、考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	
	言語活動		
		学習活動	指導上の留意点
	1 漢字クイズに取り組み、みんなで答えを確かめ合う。		<ul style="list-style-type: none"> ・グループで漢字の「読み方」「使い方」「送り仮名」に関する問題を作り、みんなで問題を解き合って楽しむこともできる。
	【関】漢字に興味をもち、漢字の知識や使い方を確かめようとしている。 【言】漢字の知識を確かめたり、紛らわしい送り仮名の違いを確かめたりしている。		
2月	単元名・教材名	・春を待つ冬（2）	
	指導目標	◎冬を感じる言葉を知り、手紙を書くことができる。 ・自分の思いが伝わるように表現の効果を工夫することができる。	
	言語活動	■手紙を書く。	
		学習活動	指導上の留意点
	1 冬のイメージを広げる。 2 季節の様子を入れて手紙を書く。 3 友達どうして読み合う。		<ul style="list-style-type: none"> ・二十四節気の意味の言葉の知識を確かめる。 ・自分が「冬」や「春」を感じる言葉を見つける。 ・「春」の写真や言葉と比べる。 ・「これから迎える春」を意識し、自分の今の思いを書く。 ・感想や助言をもとに推敲する。
	【関】季節を表す言葉などに興味をもっている。 【書】 ・季節を表す言葉を使って、今の自分の思いを伝える手紙を書いている。 ・表現の効果について確かめたり、工夫したりしている。 【言】「冬」を表す言葉語感、言葉の使い方について関心をもっている。		
	単元名・教材名	9 登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について話し合おう・海の命（6）	
	指導目標	◎教材文を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ◎登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。	
	言語活動	■物語を読み、人物の生き方について話し合う。	
		学習活動	指導上の留意点
	1 学習の見通しをもつ。 2 教材文を通読する。 3 登場人物の生き方や関係を捉える。		<ul style="list-style-type: none"> ・「登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について話し合おう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・内容や場面分け、登場人物の関係を確認する。 ・「父」「与吉じいさ」「母」の生き方や思いを捉え、「太

	<p>4 物語の「山場」を捉える。</p> <p>5 「太一」が「クエ」との遭遇を誰にも話さなかった理由について、話し合う。</p> <p>6 登場人物のそれぞれの生き方について、自分の考えを文章にまとめる。</p> <p>7 学習を振り返る。</p>	<p>一) の考えや自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P214「言葉」を参考に、言葉の使われ方に注目する。 ・「太一」の考えが変化したところと、そのきっかけを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・書いた文章を読み合い、友達と考えを交流する。 ・登場人物の生き方をどのように捉えたのかを確かめる。
	<p>【関】自分の経験や体験と重ねながら、作品に描かれている登場人物のつながりや心情を読み取ろうとしている。</p> <p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地の文から情報を読み取るとともに、相互の会話や行動の奥にある機微を捉えている。 ・人物や出来事について、その関係や心情の変化に注意しながら読み取り、自分の感想の理由をまとめている。 ・人物の生き方についての考えを交流し、自分の考えを広げたり深めたりしている。 <p>【言】物語の構成を理解している。</p>	
2 月 3 月	<p>単元名・教材名</p>	<p>・今、私は、ぼくは [コラム] 効果的な資料を提示する (6)</p>
	<p>指導目標 ◎今思うことを伝えるために、必要な資料を準備し、話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すことができる。</p> <p>○話し手の思いを受け止めながら聞き、自分の思いや体験と比べながら感想をまとめることができる。</p>	
	<p>言語活動 ■資料を提示しながらスピーチをする。</p>	
	<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>
	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <p>2 自分が伝えたいことを考える。</p> <p>3 スピーチの内容と構成を考える。</p> <p>4 構成をもとに原稿を作り、資料を準備する。</p> <p>5 スピーチの会を開く。</p> <p>6 学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでのスピーチ学習を振り返る。 ・卒業を前に今思うことを、これまでお世話になった人々に伝えるという意識をもつ。 ・「話し方を工夫し、今の思いが伝わるスピーチの会を開こう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・自分の今の思いをノートに書く。 ・発表のしかたを確認する。 ・自分の思いが伝わるように、構成を工夫する。 ・グループでスピーチの練習をし、資料の使い方や話し方について助言し合う。 ・音声CDを聞きながら、場や聞き手を想定する。 ・練習を生かして発表する。 ・スピーチの会でもらった感想などをもとに、自分のスピーチの工夫点を確認する。
	<p>【関】伝えたいことを決め、それが聞き手によく分かるように内容をまとめて話そうとしている。</p> <p>【話・聞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい話題を決め、必要な資料を準備している。 ・適切に内容を組み立て、印象深く伝わるように話し方を工夫して、スピーチしている。 ・共通語と方言を使い分けるなど、相手や場に応じた言葉遣いをしている。 ・話し手が、何を、誰に、どんな思いで伝えようとしているかを聞いている。 <p>【言】場に応じて、適切な敬語を使っている。</p>	
3 月	<p>単元名・教材名</p>	<p>卒業するみなさんへ ・中学校へつなげよう 生きる 生き物はつながりの中に かなえられた願い——日本人になること</p>
	<p>指導目標 ◎教材文を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>○自分の思いや考えが伝わるように朗読をすることができる。</p> <p>○作品や文章の中での言葉の使われ方や表現の工夫に気づくことができる。</p>	
	<p>言語活動 ■課題を決め、成果を発表する。</p>	
	<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>
	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <p>2 「中学校へつなげよう」で6年間の国語学習を振り返り、学んだことをまとめる。</p> <p>3 「生きる」「生き物はつながりの中に」「かなえられた願い」を読む。</p> <p>4 四つの教材をもとに、自分で取り組みたい学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>5 学習計画に沿って、学習を進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元名とリード文を確認する。 ・教材の朗読を取り入れる。 ・6年間の学習の成果をまとめた交流会に向けて、準

	<p>6 6年間の学習成果について交流会をする。</p> <p>7 学習を振り返る。</p>	<p>備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自が取り組んだ課題の成果を，朗読も入れて発表し合う。 ・友達の発表を，自分の考えと比べながら聞き，考えを深める。 ・自分で学習を計画し，実行できたことを確かめる。 ・小学校での学習を振り返るとともに，中学校への抱負を述べる。
<p>【関】 6年間で身につけた国語の力を使い，6年生の最後にふさわしい学習を自分の力でしようとしている。</p> <p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自が取り組んだ学習課題とその成果を聞き合い，自分が読み取ったことと比べて，共通点や相違点に気づき，自分の考えを深めている。 ・自分の思いや考えが伝わるように朗読している。 <p>【言】 文章を特徴づける語句と語句との関係や表現技法の工夫に気づいている。</p>		

第6学年書写 年間指導計画

ア 用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書くこと。

イ 目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くこと。

ウ 毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。

4	単元名・教材名	時数	目 標	主な学習活動と留意点
4 ・ 5	1. 字形を整えて書こう ・部分の組み立て方1 (三つの部分) 「湖」	毛筆 3～ 4	三つの部分で組み立てられた漢字の部分どうしの位置や大きさの関係を理解して書くことができる。	1 二つの「働」「意」を比べて、三つの部分の組み合わせでできた漢字の字形の整え方を話し合う。 2 部分の組み合わせでできた漢字は、部分どうしの位置や大きさの関係を意識して書くと字形が整うことを知る。 3 「湖」の部分の外形をなぞり、部分どうしの位置や大きさの関係を確かめる。 4 部分どうしの位置や大きさの関係を意識して、毛筆で「湖」を書く。 5 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で漢字を書く。 6 5で書いた文字と P5 で書いた文字を比較する。
5	・部分の組み立て方2 「友情」	硬筆 1～ 2	部分どうしの位置や大きさの関係を意識して、字形を整えて書くことができる。	1 漢字の部分どうしの位置や大きさの関係を(左右・上下・三つの部分)を確かめる。 2 漢字の部分どうしの位置や大きさの関係を意識して硬筆で漢字を書く。
	2. 読みやすい紙面構成を考えよう ・用紙に合った文字の大きさと配列 「さみだれを…」	毛筆 3～ 5	用紙に合った文字の大きさや配列を工夫して書くことができる。	1 何行かにわたって文字を書くときに、どうしたら読みやすくなるかを話し合う。 2 何行かにわたって文字を書くときのポイント(文字の大きさ、余白、行間、行の中心、字間)を整理する。 3 用紙に合った文字の大きさや配列を考え、小筆または筆ペンで「さみだれを…」を書く。
7	・情報による文字の大きさと配列 ・によろ「道」	硬筆 1～ 2	伝えたい情報によって文字の大きさと配列を工夫して、読みやすく書くことができる	1 P12 と P13 のポスターを比べ、情報を分かりやすく伝えるためにどうしたらよいかを話し合う。 2 伝えようとする情報の重要性などに合わせて、文字の大きさと配列を工夫する必要があることを理解する。 3 筆記具の選択の工夫により、さらに分かりやすくなることを確かめる。 4 分かりやすさを意識して、「お知らせ(クイズ大会を…)」を書き直す。 5 友達と交換して、どんな点が読みやすく工夫されているかを話し合う。
	・情報を効果的に伝えるために	硬筆 1～ 2	情報が効果的に伝わるように、文字の大きさや配列、筆記具を工夫して書くことができる。 町のよさが伝わるように工夫してパンフレットを作ることができる。	1 P14・15 のパンフレットを見て、筆記具の工夫とその効果について話し合う。 2 情報による文字の大きさや配列について確かめる。 3 町のよさを伝えるパンフレットの記事を書く。 4 情報が効果的に伝わるように文字の大きさや配列、筆記具を工夫してパンフレットを作る。 5 できあがったパンフレットを友達と読み合い、情報を効果的に伝えるために工夫されているところはどこかを話し合う。

9 ・ 10	3. 効率のよい書き方のリズムを身につけよう ・ほ先の動きと点画のつながり 「あけび」	毛筆 6	穂先の動きと点画のつながりを理解して書くことができる。	1 二つの「ゆり」を見て、文字と文字とのつながりについて話し合う。 2 点画のつながり、文字と文字とのつながりを意識して書くことと、そのよさについて確かめる。 3 「あけび」を書くときの点画のつながりを確かめる。 4 穂先の動きと点画のつながりを意識して、毛筆で「あけび」を書く。 5 小筆または筆ペンで「あけびゆらす秋風」を書く。 6 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で書く。 7 6 で書いた文字と P5 で書いた文字を比較する。
	・[もっと知りたい] 自分の文字を見つめる 「天高く…」	硬筆 1	日常の自分の文字の課題を見つけ、字形や配列を整えて書こうとする意欲を高めることができる。	1 硬筆で「天はやつぱり高く遠く…」を書く。 2 □2 で示されている観点で自分の文字を見つめ、課題を見つめる。 3 課題を意識して、もう一度書く。
10	[もっと知りたい]文字の歴史	毛筆 4 硬筆 1	文字の歴史を知り、書写学習への関心を高めることができる。	1 漢字の誕生と伝来、仮名の誕生について知る。
11 ・ 12	4. 学習したことを生かして書こう ・書きぞめ 「感謝」「ゆずり葉」「風花のまう街」「新たな決意」	毛筆 6～ 7 ・ 硬筆 0～ 1	これまでに学習したことを生かして書くことができる。	1 「たいせつ」を見て、これまでに学習したことを確かめる。 2 これまでに学習したことを生かして、毛筆で「感謝」「ゆずり葉」「風花のまう街」や「新たな決意」を書く。 3 これまでに学習したことを生かして、硬筆で「まもなく、水はサラサラ鳴り、…」を書く。
1	六年生のまとめ 「旅立ちの朝」	毛筆 4	これまでに学習したことを確かめ、課題を選んで書くことができる。	1 6年生で学習したことを確かめる。 2 6年生で学習したことの中から課題を選び、「旅立ちの朝」を書くときに意識することを書き込む。 3 課題を意識して、毛筆で「旅立ちの朝」を書く。
2 ・ 3	未来に向かって	毛筆 2～ 3 ・ 硬筆 0～ 1	これまでに学習したことを生かして、記念になる作品を作ることができる。 経験したことや想像したことなどを基に、作品を作ることができる。[1 これまでに学習したことを生かし、将来の夢や感謝状、書写作品集、思い出絵巻物などを書く。